・氏名

平原拳誠と申します。九州医療科学大学に在学しており、臨床心理学を専攻しています。

・趣味、夢中になったこと（突き詰めた経験のあるもの）

私は中学校高校と部活動でサッカーに励んでいた経験があり、夢中になっていました。サッカーが好きで日々グラウンドの照明が落ちるぎりぎりまで練習していた記憶があります。

レギュラーをつかむことは少なかったですが、どうしたらレギュラーをつかむことができるか、今自分に足りないものは何か日々考えながら練習していました。その経験があって大学生になってサッカーから離れても、達成したい目標から逆算して日々を過ごすことができていると自負しています。具体的にはアルバイトの業務を早く上達するために今日達成したい小目標を作って１日の終わりに振り返ることなどです。またこういった過去の経験もあり、今はスポーツ観戦、特に海外サッカーを観ることが趣味になっています。海外で活躍されている、日本のトッププレイヤーの方たちに日々刺激をいただいています。

・エンジニアを目指す理由

　私は人の生活が豊かになるための事業に寄与したい、そう思いエンジニアを目指しています。社会のニーズが急速に移り変わる中で、ほかの業種と比べてエンジニアひいてはITは技術成長が圧倒的に早く、いち早く革新的な技術を用いてニーズに対応することができることはITエンジニアの大きな特徴であり、魅力だと私は考えます。また社会インフラのほぼすべてにITエンジニアが関わっていて、このようなスケールで人の生活がよりよくなるために仕事ができるのはITエンジニアしかないと考えています。以上が一つ目の理由です。

　二つ目は、ITエンジニアならば私の強みを活かせると考えたからです。夢中になったことの欄で書かせていただいたのですが、中学校高校とサッカーをしていました。私はチームメイトと話しながら自主練のメニューを考え、提案することが得意でした。顧問やチームメイトからもその能力について褒められていました。なぜ得意なのかと考えたときに、私は達成したい目標から逆算して道筋を考えることが好きで得意であると気が付きました。大学生になって自分の強みを活かせる業界に飛び込みたいと思い、業界研究を進めていく中で、ITエンジニアという業種を見つけました。プログラミングのインターンに参加させていただき、プログラミングについて学んでいく中でこの業種ならば自分が持っている強みを最大限に発揮できると確信しました。情報系の大学でもなく、プログラミングを学び始めてまだ２～３か月ほどですがプログラミングの処理・分岐過程を作る際に自分の過去の経験から培ったことが活きていると感じています。

　以上二つがエンジニアを目指している理由です。プログラミングや設計を通して少しでも社会・企業様の役に立てるように、プログラミングの勉強に励んでいきたいと考えています。